

第五小だより

生き生き学び、楽しくのびのび活動する、元気な学校

令和3年11月号

朝霞市立朝霞第五小学校

朝霞市泉水3-16-1

048-462-0455



感じる心

校長 三好正浩

落葉樹の葉が落ちはじめ、風に舞う落ち葉を見かけるようになりました。秋も深まり冬が近づいてきていることを感じます。子供達といえば、コロナ禍での制約はあるものの、校庭で元気に遊んでいます。

さて、現代社会では、「自分だけよければ人のことなど関係ない」という考えの人が増えていると言われていています。このような風潮の中で、実に多くの人たちが、子供達のことを思い、学校のことを思い、ご尽力いただいていることに改めて感謝の念を強くしております。例えば、登下校時では、PTAの皆様や地域の皆様に見守りをしていただき、子供達の安全を確保していただいております。日々の生活の中で、子供達を中心に、さまざまな場面でお力添えをいただき、たくさんのかかわりの中で手本を示し、子供達を育てていただいております。ほんとうにありがたいことです。

そう考えると、人は、自分ひとりで生きているのではないことがわかります。また、自分ひとりで成長してきているのではないことに気づきます。多くの人たちに支えられて、今の自分がつくられていることを知ります。しかし、それを感じる心をもっていなかったら不幸ではないでしょうか。日頃からお世話になっている多くの人たちに気づき、感謝の気持ちをもてるように育てることが私たちの役割ではないかと思えます。

感謝の気持ちを表す言葉として、「ありがとう」という言葉があります。「ありがとう」という言葉には、「有り難い」(めったにあり得ない)という意味があります。つまり、当たり前と思う所からは「ありがとう」という気持ちは生まれてきません。こんなにも思ってくれているのかという実感が伴ってこそ、「有り難い」ことに対する「ありがとう」という感謝の念が沸いてくるのだと思えます。

『子どもは、家庭でしつけ、学校で学び、地域ではくむ』と申します。

私達は、保護者の皆様、地域の皆様と力を合わせ、しっかり子供達をはくむ朝霞第五小学校でありたいと考えています。

どうかあたたかなご支援、ご協力を引き続きよろしくお願いいたします。